

鬼怒川から学ぶ 鶴見川の危機と未来



昭和13年の水害 大倉山より綱島方面を望む 提供：公益財団法人 大倉精神文化研究所

2016
1/23(土)
13:30~16:00

要申込・参加無料

定員40名 締め切り1/22

対象：大人(小学生高学年以上)

申し込みは裏面へ

かつて綱島は水害に苦しめられた歴史がありました。鶴見川では流域一体で水害をなくす努力をしてきた結果、近年、水害が急減しました。しかし、温暖化により雨の降り方が変わってきた現在、鶴見川流域も鬼怒川のような水害の危機がいつ起きても不思議ではありません。水害を体験してきたパネリストと共にこれからの暮らし方を見直してみませんか？

- ・鶴見川流域水マスタープラン解説
 - ・パネルディスカッション
- 生稲精子氏 飯田助知氏 岸由二氏

会場：尚花愛児園

(横浜市港北区綱島西2丁目15-8)

パネリスト



生稲 精子氏
尚花愛児園 園長

鶴見川の水害の歴史を体感。鶴見川の教育に力を入れ、綱島の川辺でたくさん子どもたちを育ててきた。



飯田 助知氏
綱島市民の森愛護会代表

江戸時代、北綱島村の名主を務めた飯田家の第24代当主。飯田家は、鶴見川水害予防組合で中心的役割を果たしてきた。



岸 由二氏
慶応義塾大学名誉教授・
ドラゴンウォッチの会代表

国交省河川審議会委員。鶴見川下流の町で1958年、1966年の水害を体験している。

交通案内図



主催：鶴見川流域水協議会 (国土交通省関東地方整備局、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、町田市、稲城市)

お申込みはこちら

【実施担当・お問合せ先】 NPO 法人鶴見川流域ネットワーク

TEL: 045-546-4337 FAX: 045-546-4344 Eメール: office@tr-net.gr.jp

鶴見川流域はハクワの形





鬼怒川から学ぶ 鶴見川の危機と未来

メールでお申込み

office@tr-net.gr.jp

下記項目をご記入のうえ、上記メールアドレスまでお申込みください。

- お申込者様の氏名
- お申込者様のご住所
- お申込者様の電話番号
- 参加される方全員の氏名

お電話でお申込み

TEL: 045-546-4337

下記項目をご用意のうえ、上記電話番号までお申込みください。

- お申込者様の氏名
- お申込者様のご住所
- お申込者様の電話番号
- 参加される方全員の氏名

ファックスでお申込み

FAX: 045-546-4344

下記項目をご記入のうえ、上記 FAX 番号まで送信しお申込みください。

| | |
|-----------------|--|
| 申込者氏名 | |
| 申込者住所 | |
| 申込者 TEL | |
| 申込者 FAX | |
| 参加される方 全員の氏名 | |